

平成 27 年度 磐城共立高等看護学院 学校運営評価

当校では、平成 16 年度より学校活動全般に関わる教育の質の向上を目指し学校運営評価に取り組んでいます。「教職員による学校運営評価」と「学院生活に対する卒業時アンケート」の平成 27 年度における結果は以下のとおりです。各項目は、「5；できている～1；できていない」の5段階で評価しました。

1 教職員による学校運営評価

評価のカテゴリーは9領域（全項目48項目）です。カテゴリー別平均を昨年度と比較すると、全カテゴリーで平均点が上昇していました。最も評価が高いカテゴリーはⅣ学生生活への支援 4.40、逆に最も低いカテゴリーは、前年度同様Ⅵ施設設備 3.57 でした。

国家試験の合格率は平成 27 年度も 100%で、過去 6 年間全員合格を維持しています。国家試験は臨床での判断を問う設問が多くなっています。当校では専任教員が 14 名配置されており、実習場では担当教員が実習指導に当たります。また、主たる実習施設である総合磐城共立病院では、臨地実習授業評価が行われ、臨床、教員が一丸となって実習環境を整えており、学生を支援し、質の高い学びを提供できるように努めています。臨地実習はほかに、福島整肢療護園、舞子浜病院を始め、保健所や訪問看護ステーション、介護老人福祉施設などで行われ、学生は多くの体験を重ねながら成長します。

広報活動では、母体病院である総合磐城共立病院のフェイスブックを活用し、看護宣誓式や卒業式など学校生活の様子を公開しました。学生が生き生きと生活する様子をご覧いただけたと思います。さらにホームページや文化祭などを通して、情報発信に努めていきたいと思っています。

教職員の育成では、教員間の授業参観、公開授業への参加などで授業の質向上に取り組んでいます。また、看護研究にも取り組んでおり、平成 27 年度は 3 題を外部発表しました。

施設・設備では、校舎も築 30 年を経過し、外見は美しいままですが水回りなどの補修が必要になってきました。学生生活に不自由がないように修理を行い、学生の皆さんにも大切に使用していただいています。今年度からは、現在各階男女 1 箇所ずつ設置されている洋式トイレを計画的に増やしていく予定であり、今後もよりよい教育環境を整えられるよう、教職員全員で取り組んでいきたいと考えています。

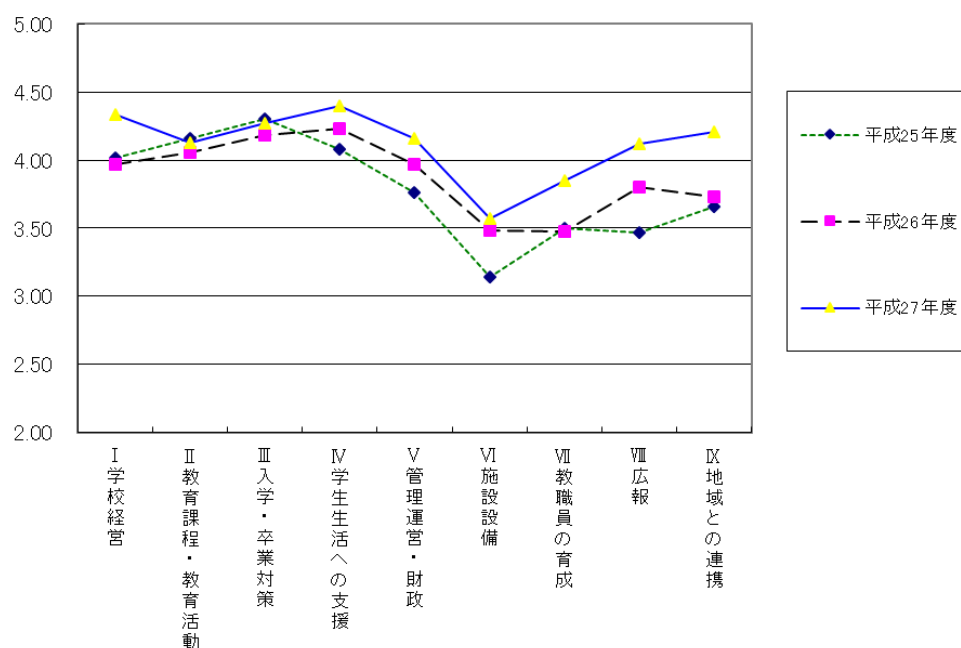


図 1 学校運営評価(平成 25 年度～27 年度)

2 学院生活に対する卒業時アンケート

評価のカテゴリーは6領域（全項目 20 項目）です。

20 項目の平均は 4.4（平成 26 年度 4.2、平成 25 年度 4.5）でした。今年度評価が高いのは、4 実習時の患者への倫理的配慮、6 学生による授業評価であり、実習時の患者さんへの説明や同意など倫理的な実践や授業評価の継続が要因と考えられます。評価が昨年度の平均 4.2 より低い項目は、1 シラバス、12 ボランティア参加、17 バリアフリー、20 広報でした。ボランティアには特に 1 年生が積極的に参加しており、12 ボランティア参加と 20 広報は昨年より評価が高くなっています。

この他昨年と比較し平均点が高いのは、15 学生の意見の反映、18 施設設備、19 交流のためのスペースでした。学院の取り組みについて学生に情報を伝える機会を設けていく必要があると考えています。

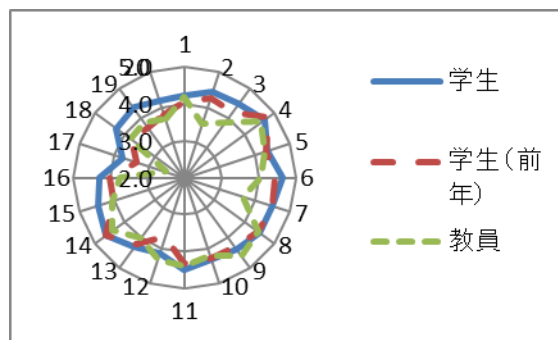


図2 学院生活に関するアンケート
一教職員の学校運営評価との対比

＊「学院生活に関するアンケート」の項目と内容：上記の番号の項目と内容については下記をご参照下さい。

I 教育課程・教育活動に関する項目

- 1 学生便覧に記載されているシラバス(授業内容)は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致している。
- 2 授業内容や指導方法が学生レベルにあうよう工夫・改善している。
- 3 実習目標に沿った病棟の選択及び、学習環境・指導体制が整っている。
- 4 実習における患者への倫理的配慮に関するガイドラインを作成し、患者等の同意を得た上で、実施している。
- 5 実習において、学生が関係したインシデント(ヒヤリ・ハット体験、事故報告)等を把握・分析しているとともに、改善策を講じている。
- 6 授業改善に努める目的で、学生による授業評価(講義・臨地実習)を実施している。
- 7 学生指導において、学生に対して人権への配慮がされている。

II 入学・卒業対策に関する項目

- 8 国試対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど教職員一丸となって取り組んでいる。
- 9 学生の進路決定率を高めるよう努めている。

III 学生生活への支援に関する項目

- 10 学生の心身面での健康管理体制が整っている。
- 11 学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じている。
- 12 学生がボランティアなどの社会活動へ積極的に参加できるよう努めている。
- 13 教育・学習活動に関する情報提供を保護者等に行い、支援を得ることにつながっている。

IV 管理運営・財政に関する項目

- 14 災害など非常時の危機管理体制が整っている。
- 15 学校運営などに学生の意見が反映されている。

V 施設設備に関する項目

- 16 校舎を定期的に点検し、適正な整備を行っている。
- 17 校舎はバリアフリーに配慮された構造になっている。
- 18 教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されている。
- 19 学生のために、休息、親睦及び交流等を行うためのスペースが設けられている。

VI 広報に関する項目

- 20 看護師養成所としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行っている。